

平成 24 年 3 月 28 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ケネディクス不動産投資法人に対し
「SMB C 事業継続性評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、ケネディクス不動産投資法人（執行役員：内田 直克）に対し、「SMB C 事業継続性評価融資」を実施しました。

「SMB C 事業継続性評価融資」は、株式会社インターリスク総研（代表取締役社長：近藤 和夫）^{*1} と共同で開発した独自の評価基準に基づき企業の事業継続計画（BCP^{*2}）および事業継続マネジメントシステム（BCMS^{*3}）の構築・運用状況を評価し、評価結果に応じた融資条件の設定を行うとともに、事業継続における今後の改善余地をご提供する融資商品です。

今回評価の対象となったのは、資産運用会社であるケネディクス・リート・マネジメント株式会社の事業継続取組みであり、①事業を支える外部の機関との連携を含め、事業継続に関わる取組みが俯瞰的に計画され、運用されている点、②東日本大震災の教訓を明確にし、その課題の解決を図るために、自社のみならずグループ会社の経営と一体で、事業継続に関わる取組みの有効性の向上を推進されている点、③自宅勤務を可能にするシンククライアントシステムに代表される事業継続の代替戦略が機能している点などが高く評価される結果となりました。

三井住友銀行では、「SMB C 事業継続性評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組みを金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

<ご参考>

※1 インターリスク総研

MS & AD インシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会である BCI（事業継続協会）の日本支部代表として認定を受けている。

※2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」若しくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

※3 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）

BCP をもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組みのこと。BCMS は、BCP の策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組みが効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためには PDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上